

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

ヘルパンギーナに注意しましょう！

先週に比べやや減少しましたが、例年夏場に流行する感染症で、今後増加する可能性がありますので注意が必要です。

【潜伏期間】: 2～5日

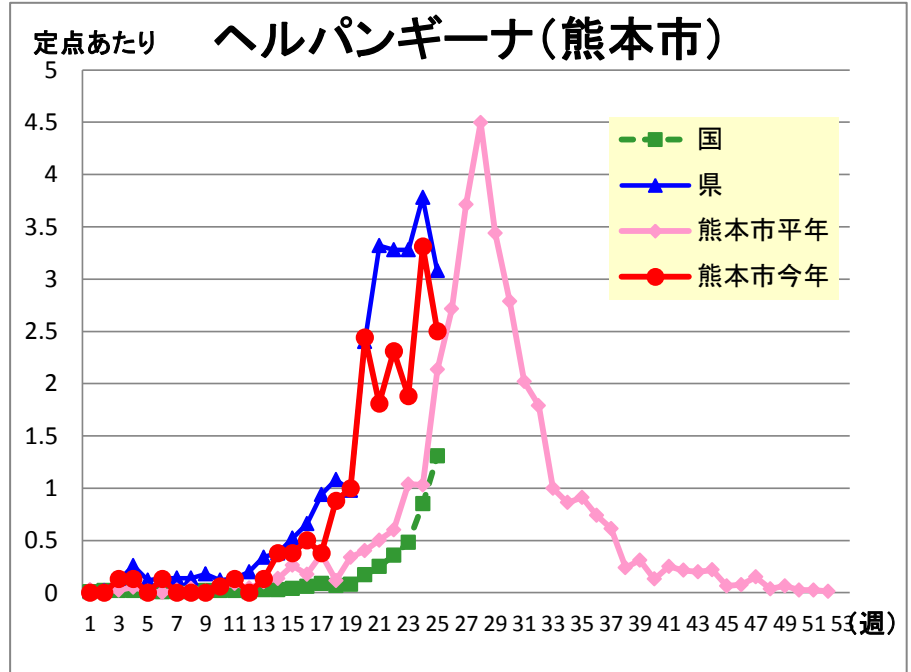
【症状】: 発熱(38度以上、時には39度～40度近い高熱を発症するケースも)、口腔内の口内炎や水疱、咽頭炎

ほとんどの場合経過は良好ですが、まれに髄膜炎や心筋炎を起こすことがあります。特に、ぐったりしている、強い頭痛・嘔吐を伴う発熱が2日以上続く、などが見られた場合は医療機関を受診するようにして下さい。

原因となるウイルスにはいくつかの型があり、何度もかかってしまうことも珍しくありませんので、予防対策をしっかりと行いましょう。

【感染予防のポイント】

ウイルスは、患者の鼻水や唾液、便などに存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排出されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。外出後、食事の前やトイレの後は、流水と石鹸で十分に手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。



期 間		第24週		第25週	
		6/9～6/15		6/16～6/22	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	1	0.04	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	12	0.75	15	0.94
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	⬇	46	2.88	28	1.75
感染性胃腸炎	➡	61	3.81	55	3.44
水痘(みずぼうそう)	⬇	19	1.19	5	0.31
手足口病	⬆	15	0.94	25	1.56
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	1	0.06
突発性発疹	➡	16	1.00	14	0.88
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	➡	53	3.31	40	2.50
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	⬇	5	0.31	1	0.06
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	17	3.40	17	3.40
細菌性髄膜炎	➡	1	0.20	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	1	0.20